



# 地域ニーズで 就業力 と 地域定着志向 と 成長力 を 高めるキャリア教育



# COC事業の成果の活用

## 信州アカデミア構想（信州を未来へつなく、人材育成と課題解決拠点）

### 〔1〕 課題解決知の形成

### 〔2〕 人材育成フェーズ

### 〔3〕 地域協創・人材定着（COC+）

地域の知と大学の知を融合させて  
信州の未来を考える解決知を創造



調査・研究・開発

連携協定を活用し、自治体職員等の地域講師による授業や地域課題を実践的に学ぶ授業の導入

地域人材育成

社会人の学び直し・経験知の体系化と行動力アップ

- ・地域講師を担当
- ・実践学習の場提供

地域志向教育

信州の地域課題を通じて学問と社会のつながりを高める



地域戦略プロゼミ

- ・地域課題解決のバイオニア育成
- ・高度専門職人材の育成（大学院進学）
- ・地域コーディネーターの育成

プロゼミで育成した地域人材を大学教育に活用。自身の学びに加え、教えることで学修を深化する。また、地域からの踏み込んだ大学参加により地域と教員・学生の連繋が深まり、地域志向教育・研究の実践力を促進

- ・地域活用学習
- ・課題実践学習

大学院生…アカデミアTA 講師・運営参加  
学部教育…高年次教養教育  
共通教育…地域を知る地域志向科目の受講

自治体連携研究員やプロゼミ修了生を講師に活用した教育

地域連繋による循環型人材育成システムを創造

人材輩出

課題解決人材の増加  
活動支援者の増加

地域活動  
地域ビジネス  
産業創出

課題解決活動

地域活性化の基盤となる  
知の森  
プラットフォーム

地域志向教員の増加  
地域志向学生の増加

地域活性化  
研究・実践

人材輩出



地域資源を活用した新しい魅力開発等



強力なパートナー（プロゼミ修了生）



信州大学

信州の地域課題を通じて学問と社会のつながりを高める

課題を解決する専門的な知識力の育成

信大大学教育改革

共通教育科目 学部専門科目

環境科学	人文科学	社会科学	スポーツ	人文学部	経済学部	医学部	工学部	農学部	繊維学部
------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------

シラバスDBを基に体系化作業 ※トビックス作成は一部教員に協力依頼

- ・Local-Global な社会課題テーマ設定
- ・シラバス検索システム（DB）改良

地域を題材に信州、日本、世界の未来を学際的に考えるテーマ設定

中山間地域の存続と撤退

歴史文化芸術の継承と発展

持続可能な環境共生社会構築

健康長寿と社会の構築

グローバル・多様性社会の構築

地域協働による防災減災

キャリア形成（COC+）

地域経営

芸術文化

環境共生

健康長寿

多文化共生

防災減災

キャリア

地域課題学習を促める  
フックレットを作成

学心の目的・広い視野を育成

「対話」から抽出した課題

特徴：専門性を核とした幅広い視野を育成する教育体制へ



一騎当千！地域変革リーダー&地域講師の輩出（180名）

- ・平成26年度（2年目）からは、会費2万円を増収し、事業費を自立させた運用
- ・平成28年度受講予定者をのぞいて、学年前15名も課外PBL（Project Based Learning）として参加



特徴：地域講師として学部教育の実践力を促進

# 1. 長野県内におけるキャリア形成推進事業

## 行政+COC連携自治体

長野県-労働雇用課、-総合政策課、-私学・高等教育課  
 ひとつづくり交流デスク-専門部会

- 教育の充実と県内産業が必要とする人材の確保
- 県内企業の強みを活かした成長分野の産業構築
- インターンシップのマッチングの仕組みを構築
- インターンシップ受入の手引きを作成
- マッチングをコーディネートする専任職員を配置

### 信州産学官インターンシップによる地元企業を知る機会の創出

- 県内インターンシップ（長野県内企業へのマッチング）
- 海外インターンシップ（県内企業の海外事業所へインターンシップ助成(20万円)

## 長野県産学官協働人材育成円卓会議

長野県の持つポテンシャルを十分に活かし、  
 新たな付加価値の創出を担うことのできる人  
 材育成について、県内大学と産業界・行政が  
 一体となって取り組む。

長野県の課題、発展の目標

## 産業界

### より実践的な学びの場へ 評価手法の開発

経営者協会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、  
 中小企業家同友会、プロフェッショナル人材育成拠点

- **インターンシップの受入れ体制の整備**
  - ・インターンシップの受入れの意向に関する調査
  - ・インターンシップの拡大と人材の県内定着に向けた学生支援
- **独自の受入先開拓、他機関との連携**  
 (地域の特色ある中小企業等への重点化)
  - ・長野県等が推進する地域企業へのインターンシップとの連携
  - ・各種団体が取り組むインターンシッププログラム等との連携
  - ・自治体や業界団体等との連携協定等を活用し、新たな受入先を独自に開拓

## キャリア（将来像・仕事）を考える分

### キャリア

- ・キャリアに必要な基礎力を育成
- ・自分の適性を知り、仕事・働くを考える

## 地域志向（地域の課題や特徴）を学ぶ

信州の自然・地勢、産業や生活・文化など、地域との対話から設定した6つの  
 学習テーマ（地域課題）を通じて、地域を考える意識・基礎知識を養う

地域運営 芸術文化 環境共生 健康長寿 多文化協働 防災減災

## 主幹大学：信州大学

### インターンシップの拡充（プログラム開発・受入先の開拓）

● **低年次（1、2年生）向けの「プレ・インターンシップ」を充実**  
 …働くを知る、地域社会を知る、生活を考えるなど具体的なジョブマッチングを  
 考える前に必要なマインド育成、基本的なマナー等を学ぶ。高年次へのスマート  
 な接続へ

- ▶ **ワンデイ・インターンシップ**  
 …一日で1,2社の職場やOBを訪問し、知ることから始める
- ▶ **エリア・インターンシップ**  
 …一定エリア内の地域企業や業界の実情を複数日かけて学ぶ
- ▶ **取材型インターンシップ**  
 …インタビュー調査等を通じて事業内容や企業課題を学ぶ

### ● 高年次（学部）インターンシップの支援

…各学部独自のインターンシップ事業は継続しながら、学部によって補完したい  
 マナー教育や事前学習等についてキャリア教育・サポートセンターで支援をする

### キャリア育成マネジメントツールの整備

「eポートフォリオシステム」▶長野大学との共同運用

学生が日々の学習・課外活動等をウェブ上の個人ページに記録。  
 自己のキャリア形成プロセスを可視化し、体系的にマネジメントするためのツール

## 信州産学官 ひとつづくり コンソーシアム

◎雇用創出・就職率向上に向けて  
**魅力ある企業（特に中小）の発掘等**を進め、事業協働地  
 域として**インターンシップを強化**  
 (参加率を20%→40%へ・県目標ともリンク)

## COC+参加大学：長野大学

地域志向のインターンシップの動機づけ、参加意欲の向上

- ・「地産地消論」地域資源を活用した地域活性化を考える
- ・「信州学生サミット」地元志向の学生が集まり意識を共有

→ **地元の組織で働く人の気持ちや将来、生き方を共有**

## COC+参加大学：松本大学

地域の課題解決に取り組む → **地域への定着**

- ・「地域防災」学内に立ち上げた自主防災組織の稼働と環境整備
- ・「健康づくり」加速度トレーニングマシンを使用した運動指導

→ **異なる世代との交流により、コミュニケーション力が向上**

## COC+事業における目標値 太字が実績値（ ）内目標値

目標値		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県内 就職率 (%)	全体	51.7	49.7 (52.6)	<b>49.3</b> (53.7)	(54.9)	(56.1)	(56.7)
	信大	40.4	37.9 (41.0)	<b>36.5</b> (42.3)	(43.8)	(45.0)	(45.4)
	長大	72.1	70.5 (72.8)	<b>68.7</b> (73.5)	(75.0)	(77.3)	(79.6)
	松大	84.4	85.1 (86.5)	<b>79.0</b> (86.7)	(86.9)	(87.1)	(87.3)
インターン シップ参加者 人数	全体	245	199 (260)	<b>278</b> (310)	(390)	(480)	(540)
	信大	201	134 (210)	<b>181</b> (250)	(320)	(400)	(450)
	長大 松大	44	57 8 (50)	<b>80 17</b> (60)	(70)	(80)	(90)
雇用創出数		-	5 (1)	2 (2)	(3)	(4)	(5)

※1. COC+における県内就職率 = 県内就職者数 / 就職希望者数  
 ※2. 申請時は就職率は3%向上だったが、採択時に上方修正の要請により5%へ

# 2. キャリア教育プログラムの開発

インターンシップに関連する授業

## 地域活用型キャリア教育

### Step5：就職支援、ベンチャー支援、留学生就職支援

キャリア教育で設定された自己目標と「ジョブ」を結びつけるサポート。卒業後は、課題解決、地域社会を創生するひとりとして活動し、経験を蓄積してキャリア教育OB（メンター等）になって後輩育成に貢献

### 仕事から地域を創造する主体へ

地方のワークライフバランス、環境や資源をフル活用した独自性の創造



### 仕事を通じて学問と社会を繋ぐ

大学生活で学んできたことを仕事の場で活かす視点・方法を習得する



### 地域課題を経験する

生活や仕事の場面に入り、リアルな地域の課題を経験し、自己課題とする



### 信州の特徴・課題を知る

### Step4：企業インターンシップ（超短期～長期）

自治体・企業・大学コンソーシアムで県内インターンシップの受け入れ先企業を開拓。特に、特徴的な事業や潜在力のある中小企業やベンチャー企業とのマッチングを強化（地方・地域は仕事がない！という意識も払拭）

### Step3：地域インターンシップ（サービスマーケティング・PBL）

地域との対話の中で発生する課題に対して仮説を立て、解決するプロジェクトを企画。自らが主体・当事者として学習成果を活かした課題解決事業に取り組む

### Step2：キャリア（将来像・仕事）を考える

キャリア 「大学生基礎カゼミ」…大学というキャリアに必要な基礎力を育成  
「ベンチャービジネス概論」…起業家意識、アントレプレナー教育

### Step1：地域志向（地域の課題や特徴）を学ぶ

信州の自然・地勢、産業や生活・文化など、地域との対話から設定した6つの学習テーマ（地域課題）を通じて、地域を考える意識・基礎知識を養う

地域運営 芸術文化 環境共生 健康長寿 多文化協働 防災減災

## キャリア形成に関する授業例

### 大学生基礎カゼミ

### スキル形成

学生が大学に適應し、早い段階で自立した学生になることを支援するとともに、必要になる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。



### キャリア形成論 I, II

### マインド形成

キャリアの多様性を知るためのゲストスピーカーによる講演や、先輩の活動や大学での研究内容を学び、自分らしいキャリアを考える。



### ベンチャービジネス概論、課題解決実践ゼミ アビリティ形成

実践的なプロジェクト遂行に関する知識と能力を、グループワークで学ぶ。身近なところにある課題を見つけ、どのようにしたら解決できるかを考え、どのように実行に移せるようになるかを計画する。



### 地域活性化システム論、地域ブランド実践ゼミ

そもそも動くってどういうこと？動くことは楽しいの？どんなことが大変なの？を率直に聞ける場を提供する。



### 大学生から始めるキャリアデザイン、キャリアデザイン実践ゼミ

ワーク（仕事）だけでなく、ライフ（暮らし）において自分が大事にしたいことをグループでディスカッション。企業との協働インターンシップも実施。



## 教育プログラムの履修状況（キャリア形成に関する授業）

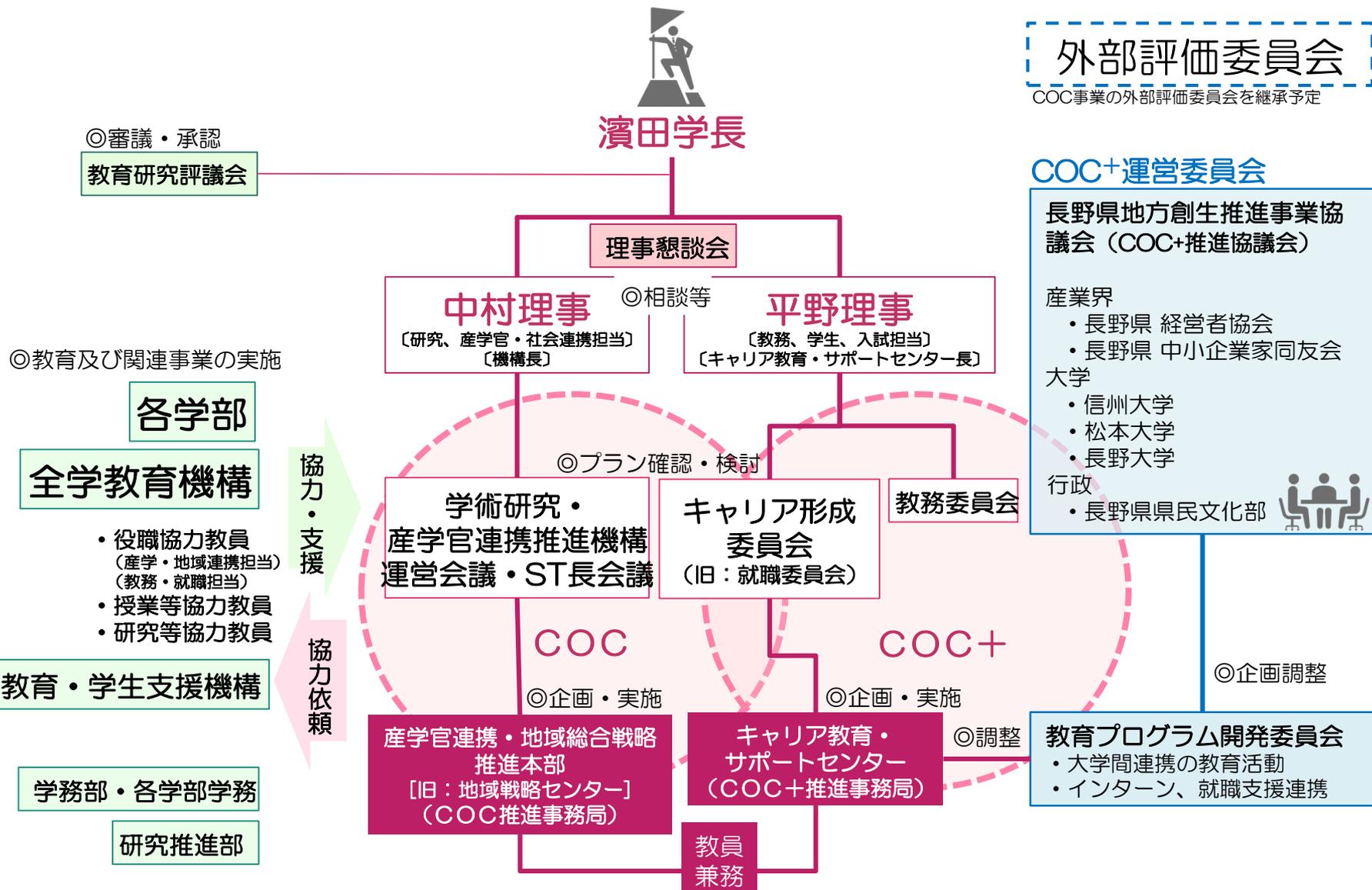
	1年前期		1年後期		合計（重複含まず）		入学生数
	履修者数	割合	履修者数	割合	履修者数	割合	
H28入学生	633人	30.5%	474人	22.8%	872人	42.0%	2,076人
H29入学生	782人	37.7%	304人	14.6%	937人	45.1%	2,076人

# 3. 信州大学の事業推進体制

信大学内関係機関等

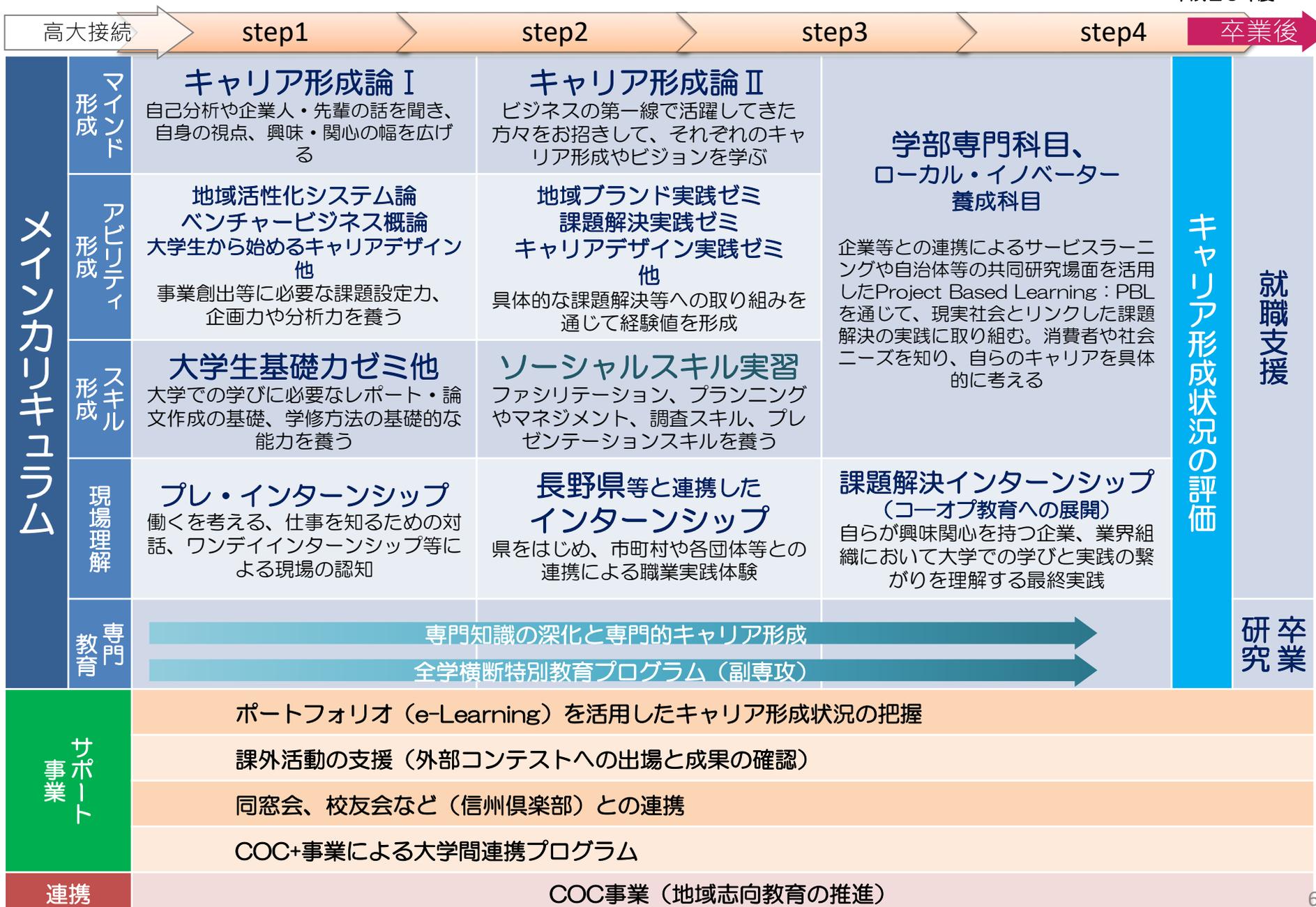
信大COC & COC+事業推進コア

外部連携機関



# 4. キャリア教育カリキュラムマップ

平成29年度



キャリア形成状況の評価

就職支援

卒業研究

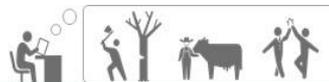
# 5. 連携事業 事業協働機関の取り組み

## 長野県産学官協働人財育成円卓会議

平成25年9月に「長野県産学官協働人財育成円卓会議」を設置。産学官協働による人材育成のあり方をテーマに検討を重ねている(計4回)。また、議論の成果を実行するプラットフォームとして、平成27年7月に「信州産学官ひとづくりコンソーシアム」設置した。

平成26-29年度

インターンシップの実施環境の充実(長野県の取り組み)



信州産学官

### ひとづくりコンソーシアムの取組



### 産学官連携によるインターンシップのマッチングの仕組みの構築

県内企業と大学・短期大学の学生をつなげるインターンシップのマッチングの仕組みを産学官協働で構築(H28から運用を開始)。

平成28年度:  
受入企業数72社、参加学生数62名  
平成29年度:  
受入企業数80社、参加学生数40名

### 大学生等海外インターンシップ支援事業

県内の大学・短期大学におけるグローバル人材の育成を促進するため、産業界と連携し、意欲ある学生の県内企業海外事業所でのインターンシップを支援(H28から事業開始)。

平成28年度:  
受入企業数7社、参加学生数6名  
平成29年度:  
受入企業数9社、参加学生数17名

方針		長野県産学官協働人財育成円卓会議: 時代を担う人材育成のため産学官が一堂に会して議論(平成25年9月設置)			
	事業名	概要	平成29年度の成果	備考	
信州産学官ひとづくりコンソーシアム 事務局:ひとづくり交流デスク	県民文化庁私学・高等教育課 インターンシップの拡充・奨学金制度の構築に向けた専門部会		専門部会を4回開催		
	人材課 インターンシップの拡充・県内定着のための専門部会	事業① 大学生海外インターンシップ支援事業	県内の大学・短大におけるグローバル人材の育成を促進するため、 <b>県内企業の海外事業所でのインターンシップ</b> を実施のための経費を支援(1人20万円以内)	学生応募数 18人 企業受入希望数 9社  マッチング結果 (信大生 8社,14人)	当初予算額 <b>400万円</b>  企業からの寄付 <b>10社 65万円</b>
		事業② 県内インターンシップ	県をはじめ、市町村や各団体等との連携による職業実践体験。 <b>マッチングの仕組みを産学官協働で構築し</b> 、県内企業を学生が知る <b>機会を創出し</b> 、定着に繋げる。	学生応募数 55人 (内 信大生24人) マッチング数44人 (内 信大生20人、参加者19人)	2月受入企業募集 5月参加学生募集 6月マッチング 8-9月インターンシップの実施
	産業労働部 人材育成 人材育成専門部会	事業③ 中小企業人材育成プログラムの構築	県内企業経営者へヒアリングを行い、企業における人材確保に関する課題や、求める人材像を「 <b>長野県中小企業の人材育成に関するヒアリング調査報告書(H29.3.31)</b> 」としてまとめた。		
	産業労働部 人材戦略研究会	事業④ 信州エクスターンシップ	地域滞在型インターンシップを実施し、就職活動前の学生に「地域社会で働くことの職業価値」を学んでもらい、 <b>長野県内へのUIターン就職</b> の促進を図る。	【期間】8/28~9/3 6泊7日 首都圏の大学生 32名 県内大学生 5名	県外の人財を県内へ誘致 インターンシップ先は、県内企業、JA,自治体 NPO法人、夢のデザイン塾が受託・事業実施
労働雇用課		事業⑤ インターンシップ応援補助金	県外に在住する大学生等が参加するインターンシップ(就業体験)の旅費支給	大学生等に <b>40,000円</b> ※同一年度中に限り、限度額に達するまで複数回申請可能	
信州高等教育支援センター		高等教育機関からの県内進学者の拡大 長野県の地域や産業振興のために、知の拠点としての大学の機能の充実	大学改革の支援、大学・学部の新設による定員増加	平成30年4月に長野県立大学が開学。	

# 6. 大学間連携によるキャリア教育事業の推進

COC+参加大学：長野大学

地域志向インターンシップの動機づけ、参加意欲の向上

- ①「地産地消論」地域資源を活用した地域活性化を考える
  - ②「信州学生サミット」地元志向の学生が集まり意識を共有
  - ③「インターンシップ公開報告会」研修内容を個々がプレゼン
- 地元の組織で働く人の気持ちや将来、生き方を共有



信州学生サミット



インターンシップ公開報告会

COC+参加大学：松本大学

地域の課題解決に取り組む → 地域への定着

- ①「地域防災」学内に立ち上げた自主防災組織の稼働と環境整備
  - ②「健康づくり」加速度トレーニングマシンを使用した運動指導
  - ③消費者弱者への支援活動「リアカー販売」
  - ④地域づくりインターン、松本広域ものづくりフェア
- 異なる世代との交流により、コミュニケーション力が向上



消費者弱者への支援活動



松本広域ものづくりフェア

キャリア育成マネジメントツールの整備

○「eポートフォリオシステム」≫長野大学との共同運用

学生が日々の学習・課外活動等をウェブ上の個人ページに記録。自己のキャリア形成プロセスを可視化し、体系的にマネジメントするためのツールを、信州大学と長野大学で共同運用。長野大学はモバイル版の開発を進める。

COC+大学等連携事業の拡大

○インターンシップ合同報告会の実施

平成28年度インターンシップの合同報告会を実施。

○長野県内大学単位互換制度（高等教育コンソーシアム信州との連携）

県内大学の学生（大学院生）が、他大学で提供されている科目を履修し、それが自大学で単位認定される制度。入学料、授業料は無料

○シンポジウムの開催

・信州発！大学改革シンポジウムー地域における大学の役割と長野県の高等教育の今後ーを長野県・県内大学と協働で開催予定(11月18日)

・COC/COC+合同シンポジウム「第3回地域をみなおす、うごかす。」を長野県・県内企業と協働で開催（12月16日）



eポートフォリオシステムモバイル版のアプリ開発中の画面



信州発！  
大学改革シンポジウム



COC/COC+  
合同シンポジウム

# 7. eポートフォリオの活用

## キャリア形成マネジメントツール

### 連絡事項

活動記録 インターンシップ情報 資格情報 自己PR 自己評価

### 基本情報

学籍番号: Test001  
所属: 在  
学年: 在  
研究室/ゼミ: テスト学生  
氏名: テスト学生  
その他:

### インターンシップ情報

インターンシップ先: TEST企業1  
期間: 2016/07/21 ~ 2016/07/28  
企業担当名: 住所: 連絡先: 000-000-0000

インターンシップ先: JICAインターンシップ・プログラム(一般型及び開発コンサルタント型)  
期間: 2017/01/01 ~ 2017/03/31  
企業担当名: (Test004)テスト企業担当名  
住所: 独立行政法人国際協力機構 国際協力人材部 人材養成課  
連絡先: 03-5226-6804

### 自己PR

場所: 決めない  
趣味: サッカー観戦  
特技: 英語話

### 活動記録/レビュー

活動記録1: 2016/07/21 ~ 2016/07/21  
仕事は早い。人間関係は楽しい。自分事で頑張った。すごくつらい。

ベンチャービジネス概論: 2016/03/05 ~ 2016/03/06  
社会人基礎力育成クラブで発表をした。

活動記録2: 2016/09/13 ~ 2016/09/21  
研修をしました。

### 資格情報

資格名	資格取得日	点数/等級
普通自動車免許	2016/07/06	
TOEIC	2016/03/01	650

### 自己評価/レビュー

【1】前に踏み出す力 (アクション)  
更新日: 2016年12月14日 17時21分  
レビュー(中西弘充) 積極的に活動することは良い事です。このまま継続していきましょう。 2017年10月16日 21時58分

【1】考え抜く力 (シンキング)  
更新日: 2016年12月13日 14時34分  
レビュー(中西弘充) 課題の解決方法の良い事例は身近なところに出山あります。常にアンテナを掛けておくことで情報が入ってきますので、このまま継続的に実施していきましょう。 2017年10月16日 22時01分

【1】チームで働く力 (チームワーク)  
更新日: 2016年12月13日 14時34分  
レビュー(中西弘充) 社会に出ると常に他者との関係が大事になってきます。傾聴力を高めるとお互いに良い関係を築けます。 2017年10月16日 22時02分

### アドバイス

学習の記録をつけましょう  
履歴は十分とりましょ。

## 学びの履歴書としてのeポートフォリオ

平成29年度利用者数 : 約700人 (入学生の35%)

自己PR  
資格情報  
活動記録

- 日々の学習・課外活動等をウェブ上の個人ページに記録。
- 自己のキャリア形成プロセスを可視化し、体系的にマネジメントするためのツールとして活動記録を残すことができる。

自己評価

「社会人基礎力」の成長の把握

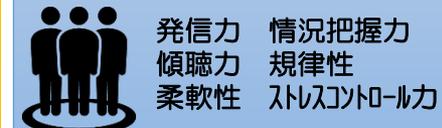
前に踏み出す力  
(アクション)



考え抜く力  
(シンキング)



チームで働く力  
(チームワーク)



ポートフォリオを使用した学生の感想 キャリア形成論授業内アンケートより

自分がキャリアに対してどのように思ったのか、  
学び、気づきを見返したいときにいつでも振り返ることができる。

自分の学んだことを見直すことができ、いつでも見やすい。

アウトプットを行うことで自分の考えを整理  
することができる。

スマホからでも入力出来るのでいつでもどこに  
いても使用できる。

過去に自分が何をしたか、何を感じたかなどを簡  
単に見ることができる。